

市内より2社が認定 愛知ブランド企業



愛知県が県内の優れたものづくり企業を認定する「愛知ブランド企業」。平成15年から始まった同事業に、岡崎から今年は2社が認定を受けました。【平成15年～19年：13社】

(株)鈴木化学工業所

～高精度の樹脂加工で保安重要部品製造～

岡崎市福岡町字下荒追56 ☎ (0564) 51-9531
<http://www.suzukikagaku.co.jp/>



代表取締役社長：鈴木啓之氏
 取締役：小幡和史氏

射出成形と溶着加工技術で、2・4輪向けプラスチック部品を手がける同社。主に車の「走る」「止まる」「曲がる」機能に関わるオイルタンクなど高い精度と安全性が求められる保安重要部品を製造しています。クリーンルームに準じた環境での成形や、三次元測定器・輪郭形状測定器の導入で、ミクロン単位の精度要求にも対応しています。また、人材教育にも積極的で、プラスチック成形技能士の資格には会社が全面的にバックアップしており、資格取得者が多数存在するのも同社の特徴。これまで培ってきた、高品質なプラスチック製品を生み出す技術を武器に、今後は電気自動車への転換・普及も視野に入れているとのこと。「脱・ガソリン」の流れに備え、電気自動車など新分野開拓にも力を入れていきたい。」と話すのは鈴木社長。今回の受賞を期に更なるチャレンジは続きます。

大和化成工業(株)

～主力のクランプ・クリップが国内自動車メーカーの約4割のシェアを占める～

岡崎市保母町字上平地1
 ☎ (0564) 47-3011
<http://daiwa-kasei.co.jp/>



常務取締役：嶋田靖文氏

1車種に約200個はあると言われるクランプや、最近では、パワースライドドア（1BOXカーなどの電動でスライドしながら開閉するドア）に内蔵されたワイヤーハーネスを保護するプロテクターなど同社の製品は2000品種にもものぼります。国内自動車メーカーの約4割を占めるクランプやクリップと、生産設備を自社開発する同社の技術力が愛知ブランド認定につながったとのこと。担当者いわく「自動車用プラスチック部品であるクランプ・クリップの専門メーカーとして“ものづくり”を追求しています。また、製品の設計・開発・製造だけでなく、生産設備の設計・開発にも力を入れており、製品の最適生産に取り組んでいます。」

最適生産を目指し、多品種少量生産から大量生産まで多様化する顧客ニーズに対応できる技術と、米国・タイ・中国に工場を持つ生産体制で世界中の顧客ニーズに対応しています。

活動認められ“ブランド商店街”に認定! ～てんま通り商店街協同組合～

TOPICS
 商店街



てんま通り商店街協同組合はこの度、地域の食・人・物・文化・歴史等を活かすなどして、特徴ある取り組みを行う商店街を愛知県

が認定する「ブランド商店街」に認定されました。市内では昨年認定された岡崎明大寺商店街振興組合に続く2例目で、これまでに県内で32商店街が認定を受けています。

同商店街は、昭和60年より街路樹へのイルミネーション点灯を、平成6年からは本商店街を南北に貫く大通り（太陽緑道）にある桜の大木にもイルミネーションを施し岡崎の冬の名所となっており、10年前から始めた点灯祭は毎年多くの人で賑わいをみせています。

「イベントや地域貢献活動などを通じ、今回認定を受けたことは非常に嬉しい。しかし、近年、店主の高齢化が進んでおり、今後は若手をいかに育てるかが大きな課題。緑道や大桜など、今ある資源を最大限活かし、たくさんの方々の協力を得て、今後も活動を行っていききたい。」(外山氏)

代表理事：外山勝利氏（とやま洋服店）
 岡崎市伝馬通5-6 ☎ (0564) 21-5611

「岡崎えきまえ発展会」 として新たにスタート!

「大きく変わりつつあるこの地域で、いろいろな方に参加いただきながら、よりよい地域づくりのために力をあわせてがんばっていきたくと思っています。」と話すのは、新美明彦新会長。



JR岡崎駅前小売店を営むメンバーで組織されていた「岡崎駅前発展会」は組織を再編し、「岡崎えきまえ発展会」として新たなスタートをきりました。これまでは、小売店のみの参加だったものを、飲食店、医療関係など小売以外の企業にも広げ、現在約40社が会員に登録。今後は、街路灯(商業灯)の維持管理をはじめ、同地域の商業・社会環境の改善に向け活動を進めていくとのこと。まずは、3月に開催される「ファーマーズマーケット」で配布予定のお店紹介マップづくりからスタートしているとのこと。

いつも笑顔の絶えない新会長のもと、JR岡崎駅前新たな活動がスタートします。

会長：新美明彦氏（新美時計店）岡崎市羽根町東荒子37-1
 ☎ (0564) 51-3230